

平成29年度
自己評価報告書

平成30年4月

学校法人 浅野学園
国際航空専門学校

目次

はじめに

- 1 学校の理念、教育目標
- 2 本年度の重点目標と達成計画
- 3 評価項目別取組状況
 - 基準1 教育理念・目的・育成人材像
 - 1-1 理念・目的・育成人材像
 - 基準2 学校運営
 - 2-1 運営方針
 - 2-2 事業計画
 - 2-3 運営組織
 - 2-4 人事・給与制度
 - 2-5 意思決定システム
 - 2-6 情報システム
 - 基準3 教育活動
 - 3-1 目標の設定
 - 3-2 教育方法・評価等
 - 3-3 成績評価・単位認定等
 - 3-4 資格・免許の取得の指導体制
 - 3-5 教員・教員組織
 - 基準4 学修成果
 - 4-1 就職率
 - 4-2 資格・免許の取得率
 - 4-3 卒業生の社会的評価
 - 基準5 学生支援
 - 5-1 就職等進路
 - 5-2 中途退学への対応
 - 5-3 学生相談
 - 5-4 学生生活
 - 5-5 保護者との連携
 - 5-6 卒業生・社会人

- 基準6 教育環境
 - 6-1 施設・設備等
 - 6-2 学外実習・インターンシップ等
 - 6-3 防災・安全管理
 - 基準7 学生の募集と受入れ
 - 7-1 学生募集活動
 - 7-2 入学選考
 - 7-3 学納金
 - 基準8 財務
 - 8-1 財務基盤
 - 8-2 予算・収支計画
 - 8-3 監査
 - 8-4 財務情報の公開
 - 基準9 法令等の遵守
 - 9-1 関係法令、設置基準等の遵守
 - 9-2 個人情報保護
 - 9-3 学校評価
 - 9-4 教育情報の公開
 - 基準10 社会貢献・地域貢献
 - 10-1 社会貢献・地域貢献
 - 10-2 ボランティア活動
- 4 平成29年度重点目標達成についての自己評価

1. はじめに

- (1) 本校の自己評価報告書は、文部科学省が策定・公表した「専修学校における学校評価ガイドライン」の内容を参考に作成しております。また、評価項目は、特定非営利活動法人私立専門学校等評価研究機構がガイドラインに準拠して制定した「専門学校等評価基準準書Ver4.0」を適用しています。
- (2) 各項目の取組状況を下記の示す1から5のランクで自己評定しております。

※評語の意味

- 5 適切に対応している。課題の発見に積極的で今後さらに向上させるための意欲がある。
- 4 適切に対応しているが課題があり、改善への取り組みが期待される。
- 3 ほぼ適切に対応しているが課題があり、改善が必要である。
- 2 対応が不十分でなく、やや不適切で課題が多い。課題の抽出と改善に取り組む必要がある。
- 1 全く対応をしておらず不適切。学校の方針から見直す必要がある。

- (3) 各項目の自己評価3以下及び改善が必要な項目について、各基準の先頭ページに総括と課題、改善方法として記入しております。

2. 学校の現状

- (1) 学校法人及び学校名

学校法人浅野学園 国際航空専門学校

理事長 中井 眞一郎

校長 猪掛 隆

- (2) 所在地

埼玉県所沢市久米354

- (3) 沿革

昭和36年 埼玉県所沢市に「国際航空学校」を開校
昭和37年 「国際航空大学校」に改称
昭和46年 操縦科を2年制に改制
昭和47年 整備科を2年制に改制
昭和51年 運輸大臣指定航空従事者養成施設となる
昭和54年 ヘリコプター整備科開設

昭和55年	専修学校工業専門課程の認可を受ける
昭和56年	学校法人浅野学園の設立認可を受ける
平成3年	航空電子整備科を増設
平成11年	エアロサポート科新設(航空電子整備科を改編)
平成12年	航空法の改正により新学科へ改編 ・航空整備科(二等航空整備士養成3年制 飛行機) ・運航整備科(二等航空運航整備士養成2年制 飛行機) ・運航整備科(二等航空運航整備士養成2年制 回転翼)
平成15年	国土交通大臣指定養成航空従事者養成施設(二等航空運航整備士 飛行機)となる
平成16年	国土交通大臣指定養成航空従事者養成施設(二等航空整備士 飛行機)、 国土交通大臣指定養成航空従事者養成施設(二等航空運航整備士 回転翼)となる
平成18年	国土交通大臣指定養成航空従事者養成施設認可 30年を迎える
平成19年	航空整備科(回転翼)新設 (運航整備科回転翼 改編)
平成22年	国土交通大臣指定航空従事者養成施設(二等航空整備士 回転翼)となる 航空整備科一等航空運航整備士コース開設
平成23年	開校50周年を迎える
平成25年	国土交通大臣指定航空従事者養成施設(一等航空運航整備士 ボーイング767)となる
平成27年	文部科学省「職業実践専門課程」認定(航空整備科、エアロサポート科)
平成30年	国土交通大臣指定航空従事者養成施設(二等空運航整備士 基本技術Ⅱ)となる

3. 自己評価委員の構成

委員長:校長 猪掛 隆
 委員 :管理本部長 下濱 悟
 委員 :教務部長 山田 知良
 委員 :航空整備科学科長 会田 弥夫
 委員 :業務部長 松島 共史
 委員 :総務部長 久我 教之
 委員 :教務部次長 岩田 高廣
 委員 :エアロサポート科学科長 渡邊 昌利
 委員 :就職指導課長 阿部 芳恵

1 学校の理念、教育目標

教育理念	教育目標
<p>国際航空専門学校は、「豊かな人間性を備えた航空従事者の育成」を教育理念とし、私学として公共性と自主性を高め、航空従事者養成施設として社会の要請に応えるべく建学の精神を礎に、学生の将来を考え、その内在する可能性を引き出すことを目指しています。</p>	<p>本校は学校教育法の規定に基づく専門課程を置く専修学校として、航空機の操縦及び整備等に関する専門技術を教授するとともに、社会人として必要な教養を与え、もって優れた航空従事者を養成する。</p>

2 本年度の重点目標と達成計画

平成29年度重点目標	達成計画・取組方法
<ol style="list-style-type: none">1. 航空整備士取得クラスにおいては、資格取得100%を目標とする。2. 学生に対して、社会人としての心構えを徹底する。3. 適切、且つ効果的な学生募集活動を行い、学生数を確保する。4. 働き方の見直しに取り組む。	<ol style="list-style-type: none">1. 効果的な教育、訓練を行い、学生全員のレベル向上を図る。2. 校則の遵守、挨拶、身だしなみ、時間厳守など社会人としての常識を教職員全員で徹底させる。3. 学校説明会、地方説明会等への積極的な参加に加え、学生募集委員会との連携を密にし、優秀な学生を確保する。4. 勤務時間内において効率的な業務を行うことにより、実質労働時間を短縮する。

3 評価項目別取組状況

基準1 教育理念・目的・育成人材像

総括と課題	今後の改善方法	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>満足できるレベルにある。平成28年度に策定した中期計画による改善が進んでいる。</p>	<p>本校で設置している学科、各コースとも社会コースに合致しており、現時点では問題ないとの結論である。平成30年4月よりスタートする新コースの細部について策定を進めて行く。</p>	<p>学校の将来構想について、保護者に対する周知は課題である。</p>

基準1 教育理念・目的・育成人材像

評価項目				自己評価		
大項目	中項目	小項目	チェック項目	小項目評価	中項目評価	大項目評価
基準1 教育理念・目的・育成人材像	1. 理念・目的・育成人材像	理念・目的・育成人材像は、定められているか	1 教育理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	5	4	4
			2 理念に沿った目的・育成人材像になっているか	5		
			3 理念等は文書化するなど明確に定めているか	5		
			4 理念等において専門分野の特性は明確になっているか	4		
			5 理念等に応じた学科を設置しているか	5		
			6 理念などを実現するための具体的な目標・計画・方法を定めているか	4		
			7 教育理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者・関連業界等に周知されているか	4		
			8 理念等の浸透度を確認しているか	4		
			9 理念等を社会の要請に的確に対応させるため、適宜、見直しを行っているか	4		
		育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	10 学科毎に、関連業界等が求める知識・技術・技能・人間性等人材要件を明確にしているか	5	5	
			11 教育課程、授業計画等の策定において、関連業界等からの協力を得ているか	5		
			12 専任・非常勤にかかわらず、教員採用において、関連業界等からの協力を得ているか	5		
			13 学内外にかかわらず、実習の実施にあたって、関連業界等から協力を得ているか	5		
			14 教材等の開発において、関連業界等からの協力を得ているか	5		
		理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	15 理念等の達成に向け、特色ある教育活動に取り組んでいるか	4	4	
			16 特色ある職業実践教育に取り組んでいるか	4		
		社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	17 中期的（3～5年程度）な視点で、学校の将来構想を定めているか	5	4	
			18 学校の将来構想を教職員に周知しているか	5		
			19 学校の将来構想を学生・保護者・関連業界等に周知しているか	4		

基準2 学校運営

総括と課題	今後の改善方法	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>基準2-4-5 人事考課制度は平成30年度中に策定</p> <p>基準2-6-7 システムのメンテナンス及びセキュリティー管理については教官全員にPCを貸与し、セキュリティーも強化した。</p>	<p>さらに管理強化を進めていく。</p>	

基準2 学校運営

評価項目				自己評価		
大項目	中項目	小項目	チェック項目	小項目評価	中項目評価	大項目評価
基準2 学校運営	1. 運営方針	理念等に沿った運営方針を定めているか	1 運営方針を文書化するなど明確に定めているか	5	5	5
			2 運営方針は理念等・目標・事業計画を踏まえて定めているか	5		
			3 運営方針を教職員等に周知しているか	5		
			4 運営方針の組織内の浸透度を確認しているか	4		
	2. 事業計画	理念等を達成するための事業計画を定めているか	1 中期計画(3～5年程度)を定めているか	5	5	
			2 単年度の事業計画を定めているか	5		
			3 事業計画に予算、事業目標等を明示しているか	4		
			4 事業計画の執行体制、業務分担等を明確にしているか	4		
	3. 運営組織	設置法人の組織運営を適切に行っているか	1 理事会、評議員会は、寄付行為に基づき適切に開催しているか	5	5	
			2 理事会は、必要な審議を行い、適切に議事録を作成しているかしているか	5		
			3 寄付行為は、必要に応じて適正な手続きを経て改正しているか	5		
学校運営のための組織を整備しているか		4 学校運営に必要な事務及び教学組織を整備しているか	5			
		5 現状の組織を体系化した組織規程、組織図等を整備しているか	5			
		6 各部署の役割分担、組織目標等を規程等で明確にしているか	4			
		7 会議、委員会等の決定権限、委員構成等を規程等で明確にしているか	4			
		8 会議、委員会等の議事録は、開催毎に作成しているか	5			
		9 組織運営のための規則・規程等を整備しているか	4			
		10 規則・規程等は、必要に応じて適正な手続きを経て改正しているか	4			
11 学校の組織運営に携わる事務職員の意欲及び資質の向上への取り組みを行っているか	4					
		1 採用基準・採用手続きについて規程等で明確化し、適切に運用しているか	5			

4. 人事・給与制度	人事・給与に関する制度を整備しているか	2	適切な採用広報を行い、必要な人材を確保しているか	4	5
		3	給与支給等に関する基準・規程を整備し、適切に運用しているか	5	
		4	昇任・昇給の基準を規程等で明確化し、適切に運用しているか	5	
		5	人事考課制度を規程等で明確化し、適切に運用しているか	4	
5. 意思決定システム	意思決定システムを整備しているか	1	各部門の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	4
		2	教務・財務等の業務処理において、意思決定システムを整備しているか	4	
		3	意思決定システムにおいて、意思決定の権限等を明確にしているか	4	
		4	意思決定システムは、規則・規程等で明確にしているか	4	
6. 情報システム	情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	1	教育活動に関する情報公開がなされているか	5	4
		2	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	
		3	学生に関する情報管理システム、業務処理に関するシステムを構築しているか	4	
		4	情報システムを活用し、タイムリーな情報提供、意思決定が行われているか	4	
		5	学生指導において、適切に学生情報管理システムを活用しているか	4	
		6	データの更新等を適切に行い、最新の情報を蓄積しているか	4	
		7	システムのメンテナンス及びセキュリティー管理を適切に行っているか	4	

基準3 教育活動

総括と課題	今後の改善方法	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>基準3-3-20 学生アンケートを実施したが、授業評価結果を授業改善に活用していない。</p>	<p>教育要領以外、教官の技量によってプラスする教育内容を科教官で共有する為に科会議で予め検討する。</p>	<p>経験豊富な教官と浅い教官の教育方法のギャップを少なくする方法を検討することが必要。標準化するにあたり、教科内容等の資料を各教員から収集し、学校の教材として蓄積させていく必要がある。</p>

基準3 教育活動

評価項目				自己評価		
大項目	中項目	小項目	チェック項目	小項目評価	中項目評価	大項目評価
	1. 目標の設定	理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	1 教育課程の編成方針、実施方針を文書化するなど明確に定めているか	5	5	
			2 職業教育に関する方針を定めているか	5		
		学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	3 学科毎に目標とする教育到達レベルを明示しているか	5		
			4 教育到達レベルは、理念等に適合しているか	5		
			5 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4		
	2. 教育方法・評価等	教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	1 教育課程を編成する体制は、規程等で明確にしているか	5	4	
			2 議事録を作成するなど教育課程の編成過程を明確にしているか	5		
			3 授業科目の開設において、専門科目、一般科目を適切に配分しているか	5		
			4 修了にかかる授業時間数を明示しているか	5		
			5 授業科目の目標に照らし、適切な教育内容を提供しているか	4		
			6 授業科目の目標に照らし、講義・演習・実習等、適切な授業形態を選択しているか	5		
			7 授業科目の目標に照らし、授業内容・授業方法を工夫するなど学習指導は充実しているか	5		
			8 職業実践教育の視点で、科目内容に応じ、講義・演習・実習等を適切に配分しているか	5		
			9 職業実践教育の視点で、教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか	4		
			10 授業科目について、授業計画を作成しているか	5		
教育課程について、外部の意見を反映しているか	11 教育課程は定期的に見直し、改定を行っているか	4				
	12 教育課程の編成及び改定において、在校生・卒業生の意見聴取や評価を行っているか	4				
	13 教育課程の編成及び改定において、関連する業界・機関などの意見聴取や評価を行っているか	4				
	14 業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4				
	15 職業実践教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか	3				

基準3
教育活動

	キャリア教育を実施しているか	16	キャリア教育の実施にあたって、意義・指導方法に関する方針を定めているか	5	
		17	キャリア教育を行うための教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか	4	
		18	キャリア教育の効果について卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか	4	
	授業評価を実施しているか	19	授業評価を実施する体制を整備しているか	4	
		20	学生に対するアンケート等の実施など、授業評価を行っているか	4	
		21	授業評価の実施において、関連業界等との連携体制はあるか	3	
		22	教官にフィードバックする等、授業評価結果を授業改善に活用しているか	3	
3. 成績評価・単位認定等	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	1	成績評価の基準について、学則等に規定するなど明確にし、かつ、学生等に明示しているか	5	4
		2	成績評価の基準を適切に運用するため、会議等を開くなど客観性・統一性の確保に取り組んでいるか	4	
4. 資格・免許の取得の指導体制	目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	1	取得目標としている資格・免許の内容・取得の意義について明確にしているか	5	4
		2	資格・免許の取得に関連する授業科目、特別講座の開設等について明確にしているか	4	
	資格・免許取得の指導体制はあるか	3	資格・免許の取得について、指導体制を整備しているか	4	
		4	不合格者及び卒後の指導体制を整備しているか	4	
	資格・要件を備えた教員を確保しているか	1	授業科目を担当するため、教員に求める能力・資質等を明確にしているか	4	
		2	授業科目を担当するため、教員に求める必要な資格等を明示し、確認しているか	5	
		3	教員の知識・技術・技能レベルは、関連業界等のレベルに適合しているか	5	
		4	教員採用等人材確保において、関連業界等と連携しているか	4	
		5	教員の採用計画・配置計画を定めているか	5	
		6	専任・非常勤、年齢構成、男女比など教員構成を明示しているか	4	
		7	教員の募集、採用手続、昇格措置等について規程等で明確に定めているか	4	
		8	教員一人当たりの授業時間数、学生数等を把握しているか	5	

5. 教員・教員組織	教員の資質向上への取り組みを行っているか	9	教員の専門性、教授力を把握・評価しているか	4	4
		10	教員の資質向上のための研修計画を定め、適切に運用しているか	4	
		11	関連業界等との連携による教員の研修・研究に取り組んでいるか	4	
		12	教員の研究活動・自己啓発への支援など教員のキャリア開発を支援しているか	4	
	教員の組織体制を整備しているか	13	分野毎に必要な教員組織体制を整備しているか	4	
		14	教員組織における業務分担・責任体制は、規程等で明確に定めているか	5	
		15	学科毎に授業科目担当教員間で連携・協力体制を構築しているか	4	
		16	授業内容・教育方法の改善に関する組織的な取り組みがあるか	4	
		17	専任・非常勤教員間の連携・協力体制を構築しているか	5	

基準4 学修成果

総括と課題	今後の改善方法	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>各項目とも専修学校として充分機能を果たしている。</p> <p>運航整備科技術コースの危険物取扱者乙種4類の合格率が低い。</p>	<p>引き続き継続に努める。</p> <p>危険物取扱者乙種4類の合格率向上を目指す。</p>	<p>現在エアサポート科も航空特殊無線技士資格を取得目標としているが就職先では使用しない資格の為、充実した教育を目指し、陸上無線技士資格への講習内容の変更を考えている。</p>

基準4 学修成果

評価項目				自己評価		
大項目	中項目	小項目	チェック項目	小項目評価	中項目評価	大項目評価
基準4 学修成果	1. 就職率	就職率の向上が図られているか	1 就職率に関する目標設定はあるか	5	5	4
			2 学生の就職活動を把握しているか	5		
			3 専門分野と関連する業界等への就職状況を把握しているか	5		
			4 関連する企業等と共催で「就職セミナー」を行うなど、就職に関し関連業界等と連携しているか	5		
			5 就職率等のデータについて適切に管理しているか	5		
	2. 資格・免許の取得率	資格・免許取得率の向上が図られているか	1 資格・免許取得率に関する目標設定はあるか	5	5	
			2 特別講座、セミナーの開講等授業を補完する学習支援の取り組みはあるか	4		
			3 合格実績、合格率、全国水準との比較など行っているか	5		
			4 指導方法と合格実績との関連性を確認し、指導方法の改善を行っているか	5		
	3. 卒業生の社会的評価	卒業生の社会的評価を把握しているか	1 卒業生の就職先の企業・施設・機関等を訪問するなどして卒業後の実態を調査等で把握しているか	4	4	
			2 卒業生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4		

基準5 学生支援

総括と課題	今後の改善方法	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>基準5-3 学生からの相談件数平成29年度3名であった。個別には3名であったが、同じ人が数回相談に来ている為相談回数的には5回であった。昨年度が6名で減少している。その他就職相談は6名で合計8件あった。</p>	<p>基準5-4-9 保健室を専用の部屋にしてからは、評判も良い。更に改善を目指す。</p>	<p>基準5-4-9 保健室を専用の部屋にしてからは、評判も良い。更に改善を目指す。</p>

基準5 学生支援

評価項目				自己評価		
大項目	中項目	小項目	チェック項目	小項目評価	中項目評価	大項目評価
基準5 学生支援	1. 就職等進路	就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	1 就職など進路支援のための組織体制を整備しているか	5	5	
			2 担任教員と就職部門の連携など学内における連携体制を整備しているか	5		
			3 学生の就職活動の状況を学内で共有しているか	5		
			4 関連する業界等と就職に関する連携体制を構築しているか	5		
			5 就職説明会等を開催しているか	5		
			6 履歴書の書き方、面接の受け方など具体的な就職指導に関するセミナー・講座を開講しているか	5		
			7 就職に関する個別の相談に適切に対応しているか	5		
	2. 中途退学者への対応	退学者の低減が図られているか	1 中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握しているか	5	5	
			2 指導経過記録を適切に保存しているか	5		
			3 中途退学の低減に向けた学内における連携体制はあるか	4		
			4 退学に結びつきやすい、心理面、学習面での特別指導体制はあるか	5		
	3. 学生相談	学生相談に関する体制を整備しているか	1 専任カウンセラーの配置等相談に関する組織体制を整備しているか	5	5	
			2 相談室の設置など相談に関する環境整備を行っているか	5		
			3 学生に対して、相談室の利用に関する案内を行っているか	5		
			4 相談記録を適切に保存しているか	5		
			5 関連医療機関等との連携はあるか	5		
		学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	1 学校独自の奨学金制度を整備しているか	4	4	
			2 学費の減免、分割納付制度を整備しているか	4		
			3 大規模災害発生時及び家計急変時等に対応する支援制度を整備しているか	4		
			4 全ての経済的支援制度の利用について学生・保護者に情報提供しているか	4		
5 公的支援制度も含めた経済的支援制度に関する相談に適切に対応しているか			4			

4. 学生生活	学生の健康管理を行う体制を整備しているか	6	全ての経済的支援制度の利用について実績を把握しているか	4	4	
		7	学校保健計画を定めているか	4		
		8	学校医を選任しているか	4		
		9	保健室を整備し専門職員を配置しているか	5		
		10	定期健康診断を実施して記録を保存しているか	5		
		11	有所見者の再検診について適切に対応しているか	5		
		12	健康に関する啓発及び教育を行っているか	5		
		13	心身の健康相談に対応する専門職員を配置しているか	4		
		14	近隣の医療機関との連携はあるか	5		
		学生寮の設置などの生活環境支援体制を整備しているか	15	遠隔地から就学する学生のための寮を整備しているか		5
			16	学生寮の管理体制、委託業務、生活指導体制等は明確になっているか		5
		課外活動に対する支援体制を整備しているか	17	クラブ活動等の団体の活動状況を把握しているか		5
			18	大会への引率、補助金の交付など具体的な支援を行っているか		5
			19	大会成績など実績を把握しているか		5
	5. 保護者との連携	保護者との連携体制を構築しているか	1	保護者会の開催等、学校の教育活動に関する情報提供を適切に行っているか	4	4
			2	個別面談等の機会を保護者に提供し、面談記録を適切に保存しているか	4	
			3	学力不足、心理面等の問題解決にあたって、保護者と適切に連携しているか	4	
			4	緊急時の連絡体制を確保しているか	5	
	6. 卒業生・社会人	卒業生への支援体制を整備しているか	1	同窓会を組織し、活動状況を把握しているか	4	3
2			再就職、キャリアアップ等について卒後の相談に適切に対応しているか	5		
3			卒後のキャリアアップのための講座等を開講しているか	3		
4			卒後の研究活動に対する支援を行っているか	3		

基準6 教育環境

総括と課題	今後の改善方法	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>基準6-3-5 備品の転倒防止策を行っているが、全ヶ所終了していない。</p> <p>基準6-3-3 消防設備等の保守点検は法令に基づき実施されている。 平成29年度 担架の追加配置実施。</p>	<p>前年度に引き続き、30年度においても校内点検を継続している。</p> <p>年度毎の防災訓練にて使用方法の訓練を行う。</p>	

基準6 教育環境

評価項目				自己評価		
大項目	中項目	小項目	チェック項目	中項目評価	中項目評価	大項目評価
基準6 教育環境	1. 施設・設備等	教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	1 施設・設備・機器類等は設置基準、関係法令に適合し、かつ、充実しているか	5	4	
			2 図書室、実習室など、学生の学習支援のための施設を整備しているか	4		
			3 図書室の図書は専門分野に応じ充実しているか	4		
			4 学生の休憩・食事のためのスペースを確保しているか	4		
			5 施設・設備のバリアフリー化に取り組んでいるか	5		
			6 手洗い設備など学校施設内の衛生管理を徹底しているか	5		
			7 卒業生に施設・設備を提供しているか	5		
			8 施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等について適切に対応しているか	5		
			9 施設の改築・改修、設備の更新の計画を策定し、適切に実施しているか	5		
	2. 学外実習・インターンシップ等	学外実習、インターンシップ等の実施体制を整備しているか	1 学外実習等について、意義や教育課程上の位置づけを明確にしているか	5	5	4
			2 学外実習等について、実施要綱・マニュアルを整備し、適切に運用しているか	5		
			3 県連業界等との連携による企業研修等を実施しているか	4		
			4 学外実習について、成績評価基準を明確にしているか	5		
			5 学外実習について実習機関の指導者との連絡・協議の機会を確保しているか	5		
			6 学外実習の教育効果について確認しているか	5		
			7 学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか	5		
			8 卒業生・保護者・関連業界等、また、学生の就職先に行事の案内をしているか	4		
			1 学校防災に関する計画、消防計画や災害発生時における具体的行動のマニュアルを整備している	5		

3. 防災・安全管理	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	2	施設・設備の耐震化に対応しているか	4	4
		3	消防設備等の整備及び保守点検は法令に基づき行い、改善が必要な場合は適切に対応しているか	5	
		4	防災(消防)訓練を定期的実施し、記録を保存しているか	5	
		5	備品の転倒防止など安全管理を徹底しているか	3	
		6	教職員・学生に防災研修・教育を行っているか	5	
		7	学校安全計画を策定しているか	4	
	学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	8	学生の生命と学校財産を加害者から守るための防犯体制を整備し、適切に運用しているか	4	
		9	授業中に発生した事故等に関する対応マニュアルを作成し、適切に運用しているか	4	
		10	薬品等の危険物の管理において、定期的にチェックを行うなど適切に対応しているか	4	
		11	担当教員の明確化など学外実習等の安全管理体制を整備しているか	4	

基準7 学生の募集と受入れ

総括と課題	今後の改善方法	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>学生募集活動、入学選考等の取り組みには問題はないが、昨年度に比べ入学者数が減となった。</p>	<p>教務部と一体となり学生募集委員会で対策を実施する。</p> <p>基準7-1-2 進路指導を対象とした説明会・見学会を検討する。</p> <p>基準7-2-1 科別に基準・規定を作成する。</p>	

基準7 学生の募集と受入れ

評価項目				自己評価 小項目		
大項目	中項目	小項目	チェック項目	小項目評価	中項目評価	大項目評価
基準7 学生の募集と受入れ	1. 学生募集活動	高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	1 高等学校等における進学説明会に参加し教育活動等の情報提供を行っているか	5	5	4
			2 高等学校等の教職員に対する入学説明会を実施しているか	4		
			3 教員又は保護者向けの学校案内等を作成しているか	5		
		学生募集活動を適切、かつ、効果的に行っているか	4 入学時期に照らし、適切な時期に願書の受付を開始しているか	5		
			5 専修学校団体が行う自主規制に即した募集活動を行っているか	5		
			6 志願者等からの入学相談に適切に対応しているか	5		
			7 学校案内等において、特徴ある教育活動、学修成果等について正確に分かりやすく紹介しているか	5		
			8 広報活動・学生募集活動において、情報管理等のチェック体制を整備しているか	5		
			9 体験入学等の実施において、多くの参加機会の提供や実施内容の工夫など行っているか	5		
			10 志望者の状況に応じて多様な試験・選考方法を取り入れているか	5		
	2. 入学選考	入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	1 入学選考基準、方法は、規程等で明確に定めているか	4	4	
			2 入学選考基準、規程等に基づき適切に運用しているか	5		
			3 入学選考の公平性を確保するための合否判定体制を整備しているか	5		
		入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	4 学科毎の合格率・辞退率等の現況を示すデータを蓄積し、適切に管理しているか	4		
5 学科毎の入学者の傾向について把握し、授業方法の検討など適切に対応しているか			4			
6 学科別応募者数・入学者数の予測数値を算出しているか			4			
7 財務等の計画数値と応募者数の予測値等との整合性を図っているか			5			
	経費内容に対応し 学納金を管	1 学納金の算定内容、決定の過程を明確にしている	4			

3. 学納金	性良内容に於心し、于相並と并定しているか	2	学納金の水準を把握しているか	5	5
		3	学納金等徴収する金額はすべて明示しているか	5	
	4	入学辞退者に対し授業料等について適正な取り扱いを行っているか	文部科学省通知の趣旨に基づき、入学辞退者に対する授業料の返還の取り扱いに対して、募集要項に明示し、適正に取り扱っているか	5	

基準8 財務

総括と課題	今後の改善方法	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>現状において財務基盤は健全である。</p> <p>今後さらに充実した教育活動を永続的に行うために、学生数を安定させ、一定水準の教育活動収入を確保する必要がある。</p>	<p>基準8-1-1 財務基盤安定のために、学校での生活環境にも配慮し、学生数を安定させる必要がある。具体的には食事面での費用補助と栄養管理、予防接種費用の学校負担など施策を充実させる。</p> <p>基準8-2-5 今後さらに教育施設、設備を整備し、学生の学習環境を充実させる施策を継続する。同時に計画的な予算執行管理を行い、財務基盤の安定に引き続き努める。</p> <p>基準8-2-1、8-4-1 財務情報公開等の予算の執行計画や財務公開規程を作成する。</p>	

基準8 財務

評価項目				自己評価		
大項目	中項目	小項目	チェック項目	小項目評価	中項目評価	大項目評価
基準8 財務	1. 財務基盤	学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	1 応募者数・入学者数及び定員充足率の推移を把握しているか	5	5	5
			2 収入と支出のバランスがとれているか	4		
			3 貸借対照表の翌年度繰越事業活動収入超過額がマイナスになっている場合、それを解消する計画を立てているか	-		
			4 事業活動収支計算書の当年度事業活動収入超過額がマイナスとなっている場合、その原因を正確に把握しているか	-		
			5 設備投資が過大になっていないか	5		
			6 負債は返還可能な範囲で妥当な数値となっている	-		
		学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	1 最近3年間の収支状況(事業活動収支・資金収支)による財務分析を行っているか	5		
			2 最近3年間の財産目録・貸借対照表の数値による財務分析を行っているか	5		
			3 最近3年間の設置基準等に定める負債関係の割合推移データによる償還計画を策定しているか	-		
			4 キャッシュフローの状況を示すデータはあるか	5		
			5 教育研究費比率、人件費比率は適切な数値になっているか	4		
			6 コスト管理を適切に行っているか	5		
			7 収支の状況について自己評価しているか	5		
			8 改善が必要な場合において、今後の財務改善計画を策定しているか	4		
	2. 予算・収支計画	教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	1 予算編成に際して、教育目標、中期計画、事業計画等と整合性を図っているか	5	5	
			2 予算の編成過程及び決定過程は明確になっているか	5		
		予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	1 予算の執行計画を策定しているか	4		
			2 予算と決算に大きな乖離を生じていないか	5		
3 予算超過が見込まれる場合、適切に補正措置を行っているか			4			
4 予算規程、経理規程を整備しているか			5			

			5	予算執行にあたってチェック体制を整備するなど適切な会計処理を行っているか	5	
3. 監査	私立学校法及び寄附行為に基づき適切に監査を実施しているか	1	私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	5	5	
		2	監査報告書を作成し理事会に報告しているか	5		
		3	監事の監査に加えて、監査法人による外部監査を実施しているか	5		
		4	監査時における改善意見について記録し、適切に対応しているか	5		
4. 財務情報の公開	私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	1	財務公開規程を整備し、適切に運用しているか	4	5	
		2	公開が義務づけられている財務帳票、事業報告書を作成しているか	5		
		3	財務公開の実績を記録しているか	5		
		4	公開方法についてホームページに掲載するなど積極的な公開に取り組んでいるか	5		

基準9 法令の遵守

総括と課題	今後の改善方法	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>基準9-1-2 学則を平成30年3月、埼玉県学事課の受理により、同年4月より新学則を実施する。コースの新設に伴い、授業科目及び基準授業時間数を改正した。</p> <p>基準9-1-4 就業規則の改正を平成30年2月に行い、ハラスメントやコンプライアンスに関する相談窓口を設置しリスク管理体制を整えた。</p>	<p>教職員は、法令遵守や個人情報管理に関するセミナー研修に積極的に参加し、知識と実務を学ぶよう務める。</p> <p>学生に対しては、社会人教育研修会を通じて、コンプライアンスの基本を教育する活動を継続して行う。</p>	<p>平成30年度から7月の教員研修時に全教職員を対象に法令遵守に関する研修・教育を行う。又、管理職教育も実施する。</p>

基準9 法令等の遵守

評価項目				自己評価		
大項目	中項目	小項目	チェック項目	小項目評価	中項目評価	大項目評価
基準9 法令等の 遵守	1. 関係法令、設置基準等の遵守	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	1 関係法令及び設置基準等に基づき、学校運営を行うとともに、必要な諸届等を適切に行っているか	5	5	5
			2 学校運営に必要な規則・規程等を整備し、適切に運用しているか	5		
			3 セクシュアルハラスメント等の防止のための方針を明確化し、対応マニュアルを策定して適切に運用しているか	5		
			4 教職員、学生に対し、コンプライアンスに関する相談窓口を設置しているか	5		
			5 教職員、学生に対し、法令遵守に関する研修・教育を行っているか	4		
	2. 個人情報保護	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	1 個人情報保護に関する取扱方針・規程を定め、適切に運用しているか	5	5	
			2 大量の個人データを蓄積した電磁記録の取り扱いに関し、規程を定め、適切に運用しているか	4		
			3 学校が開設したサイトの運用にあたって、情報漏えい等の防止策を講じているか	5		
			4 教職員・学生に個人情報管理に関する啓発及び教育を実施しているか	5		
	3. 学校評価	自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	1 実施に関し、学則及び規程等を整備し実施しているか	5	5	
			2 実施にかかる組織体制を整備し、毎年度定期的に全学で取り組んでいるか	5		
			3 評価結果に基づき、学校改善に取り組んでいるか	5		
		自己評価結果を公表しているか	1 評価結果を報告書に取りまとめているか	5		
			2 評価結果をホームページに掲載するなど広く社会に公表しているか	5		
		学校関係者評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	1 実施に関し、学則及び規程等を整備し実施しているか	4		
			2 実施のための組織体制を整備しているか	5		
			3 設置課程・学科の関連業界等から委員を適切に選任しているか	5		
			4 評価結果に基づく学校改善に取り組んでいるか	5		
学校関係者評価を公表しているか	1 評価結果を報告書に取りまとめているか	5				

		2	評価結果をホームページに掲載するなど広く社会に公表しているか	5	
4. 教育情報の公開	教育情報に関する情報公開を積極的にしているか	1	学校の概要、教育内容、教職員等の教育情報を積極的に公開しているか	5	5
		2	学生、保護者、関連業界等広く社会に公開しているか	5	

基準10 社会貢献・地域貢献

総括と課題	今後の改善方法	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>基準10-1 「学校の教育資源を活用した社会貢献、地域貢献」では、専門学校としての特殊性があり、貢献度は低い。しかしながら、専門学校として可能な範囲で活動を行う事ができた。実施内容は、学校から所沢駅までの通学路(1km/1.7km)の清掃ならびに所沢航空発祥記念館の清掃。なお、東村山警察主催の防災訓練で本校学生が積極的に協力したことから、12月24日東村山警察から感謝状を受領した。</p>	<p>今後も地域社会からの要望があれば積極的に貢献する方針である。また、夏季の台風ならびにゲリラ豪雨による周辺道路の冠水時、冬季の降雪時の対応など近隣住民と事前調整を行う事も検討課題としたい。</p>	<p>基準10-1-1 昨年度からの懸案である、細則を今年度中に作成し、担当者を決めて取り組む項目の実現を目指す。</p>

基準10 社会貢献・地域貢献

評価項目				自己評価 小項目		
大項目	中項目	小項目	チェック項目	小項目評価	中項目評価	大項目評価
基準10 社会貢献・ 地域貢献	1. 社会貢献・地域貢献	学校の教育資源を活用した社会 貢献・地域貢献を行っているか	1 産・学・行政・地域等との連携に関する方針・規程 等を整備しているか	3	4	4
			2 企業や行政と連携した教育プログラムの開発、共 同研究の実績はあるか	4		
			3 国の機関からの委託研究及び雇用促進事業につ いて積極的に委託しているか	5		
			4 学校施設・設備等を地域・関連業界・卒業生等に 開放しているか	4		
			5 高等学校等が行うキャリア教育の実施に教員を派 遣するなど積極的に協力・支援しているか	4		
			6 学校の実習施設を活用するなど高等学校の職業 教育の実施に協力・支援しているか	4		
			7 地域の受講者を対象とした「生涯学習講座」を開講 しているか	-		
			8 環境問題など重要な社会問題の解決に貢献する ための活動を行っているか	4		
			9 教職員・学生に対し、重要な社会問題に対する問 題意識の醸成のための研修・教育に取り組んでい	4		
			1 海外の教育機関との国際交流の推進に関する方 針を定めているか	-		
			2 海外の教育機関と教職員の人事交流・共同研究等 を行っているか	-		
			3 海外の教育機関と留学生の受入れ、派遣、研修の 実施など交流を行っているか	-		
			4 留学生の受入れのため、学修成果、教育目標を明 確化し、体系的な教育課程の編成に取り組んでい るか	-		
			5 留学生の受入れを促進するために学校が行う教育 課程、教育内容・方法等について国内外に積極的 に情報発信を行っているか	-		
	2. ボランティア活動	学生のボランティア活動を奨励 し、具体的な活動支援を行ってい るか	1 ボランティア活動など社会活動について、学校とし て積極的に奨励しているか	5	5	
			2 活動の窓口設置など、組織的な支援体制を整備し ているか	5		
			3 ボランティアの活動実績を把握しているか	5		
			4 ボランティアの活動実績を評価しているか	5		

5	ボランティアの活動結果を学内で共有しているか	5
---	------------------------	---

4 平成29年度重点目標達成についての自己評価

平成29年度重点目標	達成状況	今後の課題
<p>1. 航空整備士取得クラスにおいては、資格取得100%を目標とする。</p> <p>2. 学生に対して、社会人としての心構えを徹底する。</p> <p>3. 適切、且つ効果的な学生募集活動を行い、学生数を確保する。</p> <p>4. 働き方の見直しに取り組む。</p>	<p>1. 対象学生80名中74名合格(92.5%)</p> <p>2. 校則の遵守、挨拶、身だしなみ、時間厳守など社会人としての心構えが備わり、来校者、訪問先や就職先などから評価されている。</p> <p>3. 連続していた入学生の減少に歯止めが掛けられ、平成30年度の入学予定者は微増となった。</p> <p>4. 勤務時間内の業務を効率よく行うことに加え、各学科・グループ毎に仕事をシェアすることで労働時間の短縮に結びついた。</p>	<p>1. 受験年昇級時から資格取得意義の更なる啓蒙と学生レベルに応じたより細かなフォロー・アップの実施並びに教官間の連携したバック・アップを実践する。</p> <p>2. 今後も継続した啓蒙・指導を実施する。</p> <p>3. 学生募集委員会との連携を更に強め、学校訪問方法等の精査・改善、地方説明会会場等の見直し、ポスター・広告等の宣伝活動の拡充を図り、優秀な学生の発掘・勧誘を更に進める。</p> <p>4. ワーク・シェアリングも踏まえた効率化を図り、継続して労働時間の短縮・業務の平均化に努める。</p>